

## 第3回地域未来創生スクール 実施報告

日程：令和7年9月～10月

第3回は、各テーマ「まち」「ひと」「しごと」に分かれ、実務家講師の活動現場を訪問する現地視察を実施しました。

受講生は、講師が実際に地域課題と向き合ってきた現場を歩きながら、地域住民や事業者、行政担当者など、第一線で挑戦を続けるプレイヤーの声に直接触れました。

現地では、各地の取組を単に「成功事例」として見るのではなく、試行錯誤の過程や、地域の人々との信頼関係づくり、そして持続可能な仕組みづくりの裏側まで学びを深めました。

講師と参加者の対話も活発に行われ、教室の中だけでは得られない「現場の温度」を体感する時間となりました。

### 【まち班:宮崎県日南市】

テーマ「応援の連鎖がまちを変える～油津商店街にみる新しい地方創生のかたち～」のもと、木藤亮太氏(株式会社ホーホウ)の案内で日南市を訪問しました。



当日は、油津商店街の事業者を中心に、子育て支援センター「ことこと」や「二代目湯浅豆腐店」、IT企業「PORT 株式会社」など、多様な取組を視察しました。

商店街の中心に、様々な関係者が協働しながら「人が集う仕組み」を育てており、新たな挑戦が生まれていくまちづくりの現場を学びました。



また飫肥城下町では、歴史的建物を活かした観光まちづくりの取組も見学し、地域資源の新たな活用方法を学びました。



### 【ひと班:島根県】

テーマ「関係人口創出・移住～私たちはローカルで幸せを見つける～」のもと、指出一正氏(株式会社ソトコト)の案内で、島根県の松江市・出雲市・雲南市・奥出雲町の4地域を訪問しました。



行政の取組「しまっち！」や「しまことアカデミー」に加え、移住者・Uターン者が地域で挑戦する姿を現場で学びました。

空き店舗を活用したコミュニティスペースやカフェ、農業体験を通じた関係人口づくりなど、地域に根ざした多様な実践を視察しました。



また、各地域プレイヤーの移住を決意した背景などを伺うことで、関係人口創出の要因を考えるきっかけになりました。



#### 【しごと班：山形県庄内町】

テーマ「地域資源活用によるビジネス創出～いなかビジネス教えちやる～」のもと、畦地履正氏（株式会社四万十ドラマ）の案内で、庄内町を訪問しました。



町の特産米である「亀の尾」を軸に、農家・加工業者・販売業者・行政が一体となり進めている「かめこめプロジェクト」を中心に、地域資源を活かした取組を学びました。



「さくら粃屋」の事業承継や新ブランドづくり、「吉祥ファーム」の多品種栽培と販路拡大、「熊谷神社」や「亀の尾の里資料館」での文化継承など、地域に根ざした多様な挑戦を視察しました。全ての関係者がお互い寄り添いながら進める姿勢や、「あるものを磨き、真ん中をつくる」発想が印象的でした。

